

町田の森 見てある記

片所(かたそ)谷戸

多摩境駅近くにある片所谷戸は、地域の小山のホタルと自然を守る会の方たちが、20年以上にわたり手入れをしてきました。以前は田んぼだった場所は用水路が残り、ホタルが飛ぶ頃には約5百人もの人が訪れるそうです。造成した墓地のすぐ脇にあつて、世界に百本くらいしかないというホシザクラが群生していることを専門家が10年前に発表



小山小の子どもたち 製作の可愛い看板



片所谷戸入口

ここは京王電鉄が所有している土地です。そばまで区画整理事業の対象地になっています。08年に谷戸を含む広いエリアの保護を求め、請願が市議会です。採択されましたが、地権者の意向と合わず、一部のエリア(水路とホシザクラを含む11種類のサククラが群生しているエリア)を市が買い上げることにしたそうです。

町田市の中には、住民が住居近くにある素晴らしい水と緑の景観、そこに生息する様々な動植物にひかれ、宅地開発からその環境を守ろうと市に交渉し、市と協働して手入れをしてきた谷戸や森があります。多様な生物が住み続けられるエリアを身近な場所に残していきたい思いと、市民が安全に楽しむ公園づくりがどう折り合つかが課題です。

いずれ京王電鉄の土地から町田市の公園が緑地に変った場合、市民の安全に配慮する整備(コンクリートで固められた幅広の遊歩道など)が行われることになる、この風情が損なわれるのではと気がかりです。

かしの木山自然公園

85年当時かしの木山周辺の豊かな自然が失われることを危惧した住民有志が緑を守る市民の会を結成。公園として保全するための署名運動が実り、緑地は確保されました。その後地域住民が中心となり、かしの木山自然公園愛護会を結成し、88年5月より市から管理委託されましたが、2011年4月に委託業務は解消となりました。現在は民間の事業者が委託を受けて市の意向に沿った整備を進めており、公園の雰囲気も変わりつつあります。

子宮頸がん予防ワクチンの定期接種に疑問

定期接種に疑問

英グラクソ・スミスクライン社製「サーバリックス」。米メルク社製「ガーダシル」。厚生労働省が認証した二つの子宮頸がんワクチンが、四月から小6から中1の女子対象の定期接種に加えられた。だがこれまで副反応事例が多く報告されており、重篤、死亡者も出ている。米では44%の親が拒否。国内でもワクチン被害者連絡会が立ち上がった。杉並区の「中学入学お祝いワクチン」無料接種をした女子中学生の被害は本当に痛ましい。

さて、子宮頸がんの原因であるHPVは性体験のある女性の80%が感染しており、90%以上は免疫力で排除される。一部が長い時間をかけ中高年になってから発症する場が多いため。上記のワクチンはHPV16型と18型に

地域社会で支える薬物依存症からの回復 ダルクという組織

2013年4月5日 日野市での講演から

薬物依存症は恐ろしい病気です。一度とてつもなくいい気分を体験すると薬を使つてない時の嫌な気分が辛くて、大量の薬で解消する。そのうち快感はなくなるが薬を使わない時の落ち込みが苦しくて薬を使う。一度スイッチが入ると本人の力では抜け出せません。依存すること自体が病気であり、もうしませんが、

人が増えているそうです。最近では脱法ハーブの影響も深刻になっています。

今回日野市社会福祉協議会と共催してこの講演会を企画した『武蔵野ダルク』は日野市を拠点にするグループです。渡辺肇代表は「町田市民からの相談もある、もっと危機感をもつて欲しい、理解して欲しい」「立ち直りに必要な生活の場所を作りたいが、危険な人たちという偏見から拠点を作ることが困難」と繰り返して語ります。特に女性はDVの被害者であるケースが多く、立ち直りが困難だとい

います。しかし女性の拠点は全国で4か所、東京で1か所しかなく(ダルクは全国で60か所)一刻も早く拠点を増やすことが望まれます。町田市でも開設できるように働きかけていきます。(わたべ)



新たな気持ちでスタート

~設立30周年記念企画を終えて~ 2013年2月16日



町田・生活者ネットワーク 定期総会と設立30周年記念企画「映画と講演の集い」を市民ホール会議室で開催、新たなスタートを切りました。

前衆議院議員、石毛えい子さんの講演では「日本の女性国会議員は11%、世界102位、1/3は占めるくらいでない」とだめ。こだわりを持った女性議員がもっと必要です。今こそ平和の尊さ、戦争反対を訴えていかなければなりません。何が課題で何に取り組んでいくか。福島の問題は共有し続けていかなければなりません。」とのお話を伺い、町田ネットも地域で何に取り組んでいくのか、たえず問いながら、行動しながら市民の皆さんとつながり合い、前進していきます。

30周年記念誌完成

ご希望の方は事務局までご連絡ください。頒価500円

生活者ネットワークは 都内に54人の女性議員をもつローカルパーティです

生活者ネットワーク 3つのルール

市民参加の層を広げるため、議員は原則最長2期8年で交替。議員を職業化、特権化しません。生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は市民の政治活動資金として使います。お金の流れはすべて公開します。選挙はカンパとボランティアで行います

サポーター募集中

- 正会員:活動や運営に参加 年会費 ¥4,000
- 賛助会員:資金的に援助できる 年会費 ¥5,000
- メイト会員:活動の理解者になれる 年会費 ¥2,000

カンパのお願い

皆さんのカンパが町田・ネットの大切な資金源です。ご協力いただける方は、下記郵便口座へお振込ください 00170-1-411651 町田・生活者ネットワーク